※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編現代の国語（大修館）						
副教材等	漢字ボックス（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、社会生活で必要となる国語の知識や技能を身に着けることを目標としています。
・話し合い・文章記述・発表など、アクティブな活動を採り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」、感じたことや意見を文章化して伝えるための「書く能力」を習得し、向上させることも大切です。
・日々の授業での学習活動がとても大事な教科です。定期考査には学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。
（１）社会生活で必要となる国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会生活で必要となる国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	筆者独自の考え方を読み取り、自分に当てはめて考える ［教材］ 「変わる」ことを楽しもう 人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	情報を整理し、内容や構成に注意して話す ［教材］ ことばの使い分け 絵や写真を説明しよう 聞き取ったことをまとめよう	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話／聞]：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討している。 c：積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表しようとしている。	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 発表 ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート ノート
	相手意識を持って言葉を選ぶ ［教材］ 対話のレッスン 本のポップを作ろう	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話／聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して話の構成や展開を工夫している。 c：場に応じた言葉遣いをしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 発表 ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 発表 振り返りシート ノート
二学期	日本と西洋の文化の比較を通じて日本文化への理解を深める ［教材］ 水の東西	a：文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：読み手の理解が得られるように、論理の展開を考えて文章の構成や展開を工夫している。 c：比較を通じて粘り強く「東西」の文化の違いへの理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 小テスト ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 振り返りシート ノート
	発想を広げてアイディアを整理し、まとめる ［教材］ テーマを決めて話し合おう ミニインタビューをしよう 料理レシピを書こう	a：思考・発想を広げる方法について理解している。 b[話／聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 c：進んで話し合いの題材を考え、学習課題に沿って発想を広げる話し合いをしながら自分の考えを広げようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	提示された新しい視点について理解する ［教材］ 情報の力関係	a:「メディア」という語句の意味を的確につかみ、教材文の文脈の中で理解している。 b[読]:文章や図表の情報を関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、構成や論理展開を評価したりして、自分の考えを深めている。 c:教材文に興味を持ち、メディアと情報の力関係について自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 振り返りシート ノート
三学期	筆者の仕事に対する思いを読み取る ［教材］ 何のために「働く」のか	a:社会生活において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色を理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:進んで筆者の「働く」ことに対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 発表 ノート 小テスト 定期考査	ワークシート 振り返りシート ノート
	調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる ［教材］ ショートスピーチをしよう 意見文の基礎を学ぼう 反対意見を想定した意見文を書こう	a:文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]:目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c:粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら読み手の理解を得られるよう文章の構成や展開を工夫して書こうとしている。	ワークシート 発表 定期考査	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　３０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間